

公社等外郭団体に関する情報公開

団体名	公益財産法人千葉県動物保護管理協会	県所管課	健康福祉部衛生指導課
代表者	理事長 山根 晃	電 話	043-223-2642
所在地	千葉市中央区都町463-3		
電 話	043-214-7814		
設立年月日	平成5年4月7日		
ホームページ アドレス	http://www.c-animal.jp		
事業内容	(1)犬のしつけ方教室等の普及・啓発活動事業 (2)電話相談や飼い主紹介等の指導・相談事業 (3)指導者育成や教材提供等の教育調査研究活動事業 (4)県の収容動物の管理処分・育成業務等の受託事業 (5)その他目的達成に必要な事業		

1 出資等の状況(H30.4.1現在)

(単位:千円)

資本金(又は出捐金)	280,000
------------	---------

出資(出捐)者	出資(出捐)額	出資(出捐)割合	出資(出捐)順位	備考
千葉県	140,000	50.0%	1	
千葉市	48,000	17.1%	2	
市町村(千葉市を除く)	48,000	17.1%	3	
(公社)千葉県獣医師会	44,000	15.7%	4	
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		
		0.0%		

2 社員(会員)の状況(社団法人のみ)(H30.4.1現在)

社員総数	
------	--

区 分		社員数	主な者
内 訳	地方公共 団体		
	県		
	市町村		
	国又は政府系機関		
	民間法人		
その他			

3 財務状況

(1)貸借対照表から

(単位:千円)

項 目	27年度	28年度	29年度
総資産	286,005	283,748	281,719
負債	450	348	501
(うち有利子負債)	0	0	0
純資産	285,555	283,400	281,218
累積損益(利益剰余金)	5,555	3,400	1,218

(2)損益計算書から

(単位:千円)

項 目	27年度	28年度	29年度
総収入 (＝売上高＋営業外収益＋特別利益)	39,062	36,213	35,409
経常損益	2,119	-2,155	-2,182
当期損益	2,119	-2,155	-2,182
減価償却前当期損益	2,119	-2,155	-2,182

4 年度末借入金残高等の状況

(単位:千円)

項 目	27年度	28年度	29年度
借入金残高	0	0	0
うち県からの借入金残高			
うち県以外からの借入金残高			
うち県の債務保証又は損失補償の対象となる借入金残高			

※一般社団・財団法人及び公益社団・財団法人(特例法人(従来の公益法人)含む。)については、次のとおり公益法人会計基準に読み替える。

〈貸借対照表〉 純資産⇒正味財産合計

利益剰余金⇒一般正味財産

〈損益計算書〉 損益計算書⇒正味財産増減計算書

総収入(＝売上高＋営業外収益＋特別利益)⇒総収入(＝経常収益＋経常外収益＋当期指定正味財産増加額)

経常損益⇒当期経常増減額

当期損益⇒当期一般正味財産増減額

※累積損益(利益剰余金)については、基本金又は基本財産に相当するものを除いたものとなる。

5 県の財政支出の状況

(1) 委託料・補助金等

(単位:千円)

項 目	目的、内容、算出根拠等	27年度	28年度	29年度
委託料	収容動物管理・育成訓練業務等	15,852	16,823	16,687
補助金・交付金・負担金				
合 計		15,852	16,823	16,687

(2) その他

(単位:千円)

項 目	目的、内容、算出根拠等	27年度	28年度	29年度
利子補給				
税の減免額				
出資金				
貸付金				
上記以外のもの				
合 計		0	0	0

(3) 委託料のうち再委託に関するもの

(単位:千円)

項 目	目的、内容、算出根拠等	27年度	28年度	29年度
委託料のうち再委託したもの				
再委託のうち入札によるもの				
再委託のうち随意契約によるもの				

6 役職員の状況

(1) 役職員数(各年度7月1日現在)

(単位:人)

項目	28年度	29年度	30年度
常勤役員数	1	1	1
うち県退職者	1	1	1
うち県派遣職員			
常勤職員数	6	6	6
うち県退職者	0	0	0
うち県派遣職員			

(2) 役職員の平均年収等の状況

項目	28年度	29年度	30年度
役員数(県派遣又は県OB)	1人(1人)	1人(1人)	1人(1人)
役員平均年齢	*	*	*
平均年収(千円)	*	*	*
職員数(県派遣又は県OB)	6人(0人)	6人(0人)	6人(0人)
職員平均年齢	52歳	44歳	46歳
平均年収(千円)	2,811千円	2,866千円	2,395千円

① 対象は常勤の役職員です。(嘱託職員、日々雇用職員は除く。)

② 役職員数は実人員を記入してください。

③ 平均年収は、役員報酬や給料等総人件費を実人員で除して算出すること。

※役職員数は実人員を記入してください。

平成30年度中の毎月1日現在の役職員数を合計し12か月で割り、小数点第2位を四捨五入してください

例:4月の役員数が5名、9月末で1名減り、年度末は4名であった場合は4.5人となります。

※平成30年度の平均年収については推計となる。

7 改革方針の取組状況

改革方針(区分)	県と連携した経営改善
改革方針(概要)	・賛助会員の増加やインターネットの活用などによる寄付金の納入方法の多様化、協会が自主的に実施する「しつけ方教室」の受託機会の増加などを図ることで収入等の確保に努めるとともに、経費の徹底的な精査を早期に行うなどにより、単年度収支の赤字解消に向けた収支構造の改善に努める。
取組状況	・包括外部監査の意見もあり、広く一般法人や自治会、任意団体からの事業も受託することとし、平成29年度は、市町村のコミュニティ団体やマンション自治会のペットクラブ等からの災害時のペット対策やしつけ方教室事業を受託を開始し、2件の受託増加につながった。 ・平成27年度にインターネットで寄付金、賛助会費の支払いができるようにしたが、29年度は当協会発行のチラシ等の中に告知するなどPRに努め、賛助会費は17千円の増となった。今後もさらなるPRに努めていきたい。 また、県内動物病院等に設置している募金(箱)の回収を図っていく。 ・単年度収支の赤字解消については、今後とも経費の削減に努める。
その他(特記事項等)	

*平成28年4月に千葉県行政改革推進本部で決定した改革方針とその取組状況を記載してください。